

『概要版』可燃ごみ戸別収集の社会実験に係るアンケート調査結果

1. 調査目的

戸別収集を順次市内全域に拡大していくにあたり、社会実験の成果として期待する市民満足度の向上、ごみの減量化・資源化、集積所を廃止することによる景観の向上、回収頻度の妥当性等の状況を測ることを目的に実施した。

2. 調査対象

モデル地区に居住する世帯

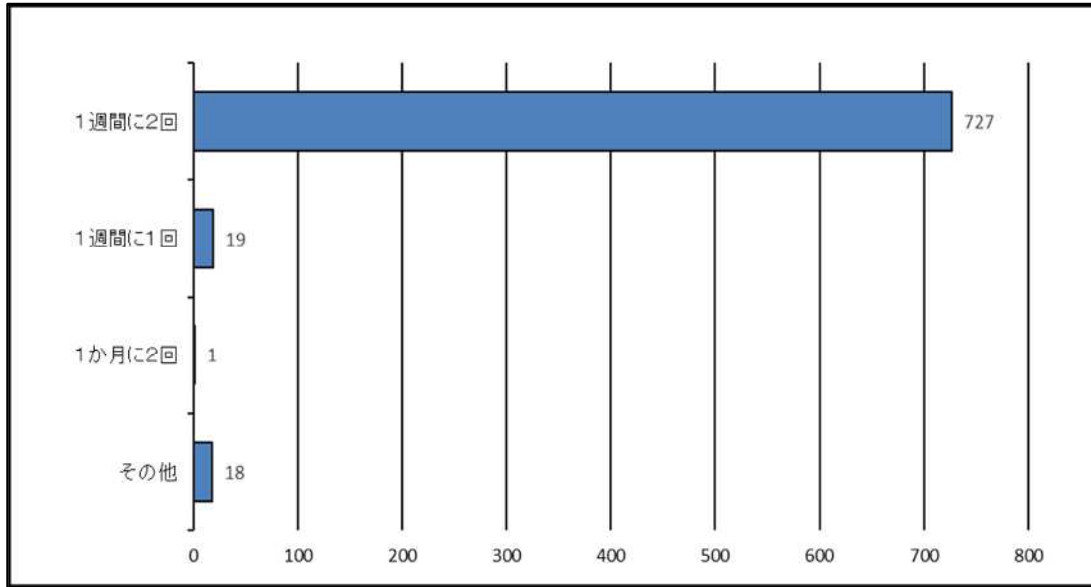
3. 調査方法

- ・ 方法：各戸ポスティング調査方式
- ・ ポスティング数：1,372通
- ・ 期間：令和2年5月25日から6月19日

4. 調査結果

- ・ 有効回収数：765通
- ・ 有効回収率：55.8%

・ 質問 1 1 「戸別収集の回収頻度は、どのくらいが適切だと思いますか」

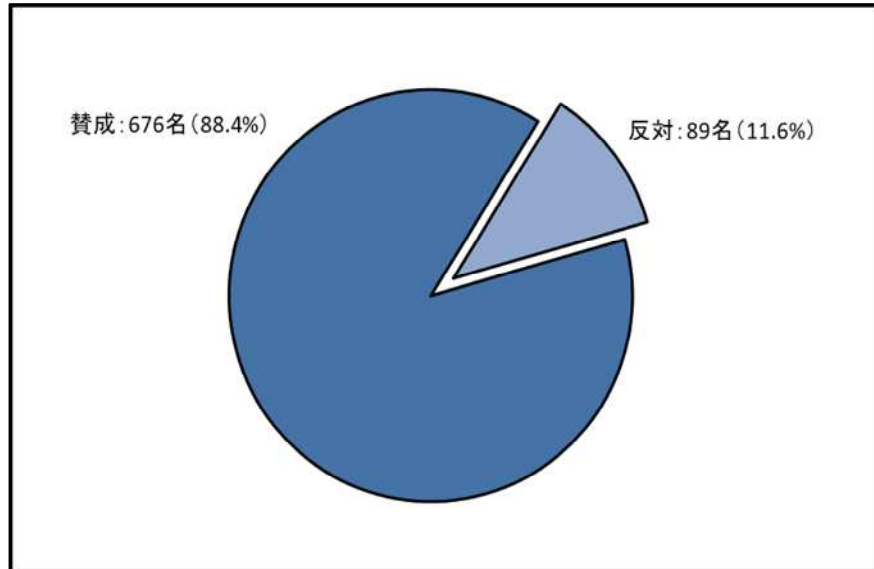


・ 戸別収集の回収頻度として、約95%の方が、1週間に2回を希望。
 ・ その他の意見は次のとおり。

- ・ 1週間に3回：17名
- ・ 毎日：2名
- ・ 年末年始は回数を増やしてほしいなどの具体的な回数が例示されなかったもの：3名

社会実験について

・ 質問 2 「社会実験に対して賛成でしたか、反対でしたか」



・ 約90%の方が、戸別収集の社会実験に賛成。

・ 戸別収集の社会実験に反対の理由は次のとおり。

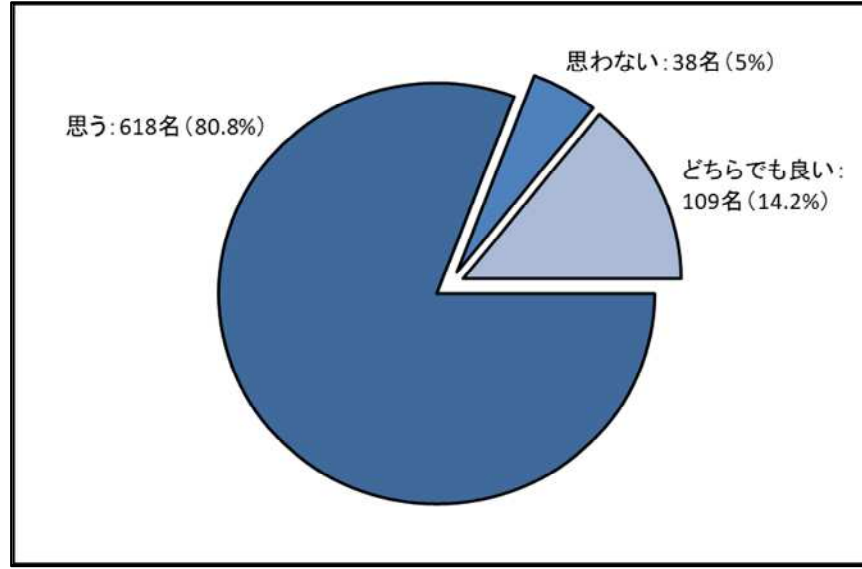
- ・ プライバシーが侵害されそうだったから：23名
- ・ 自宅敷地内にごみを置きたくなかったから：7名
- ・ カラス等の被害を防ぐことが面倒だと思ったから：24名
- ・ 近所付き合いが希薄になってしまうと思ったから：1名
- ・ 景観が悪くなると思ったから：5名
- ・ その他：29名

・ その他の主な意見

- ・ 戸別収集になると負担が増えるから。
- ・ 戸別収集制度自体に不満・問題があると思うから。
- ・ 収集曜日・時間に不満があるから
- ・ 防犯上問題があると思うから。 など

戸別収集の継続について

・ 質問 1 2 「戸別収集は、継続した方が良いと思いますか」

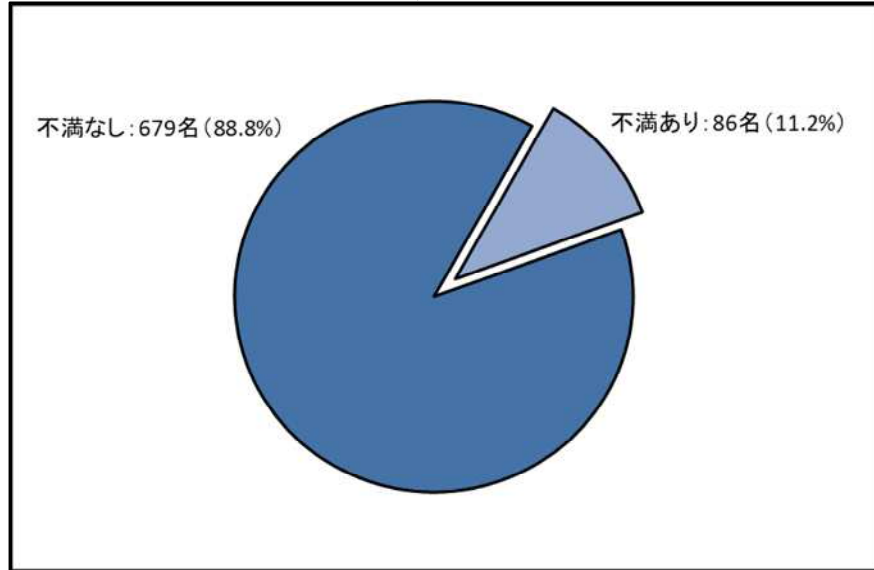


・ 約81%の方が、戸別収集の継続を希望。

・ 社会実験の反対割合の約12%と継続希望の思わないを比較すると約7%程度は受け入れられたようだ。

・ 継続希望のどちらでも良いと質問9の不満の有無をクロス集計したところ765名の回答のうち約11%は不満がなく好意的であった。

・ 質問 9 「戸別収集に対して、ご不満はありますか」



・ 約90%の方は、戸別収集を体験して不満なし。

・ 不満ありを選んだ理由は次のとおり。

- ・ 第三者にごみを持ち去られる、もしくは置いて行かれる：9名
- ・ 自宅の敷地内にごみを置きたくなかったから：9名
- ・ カラス等の被害を防ぐことが面倒だから：21名
- ・ ごみの回収時間が遅くなったから：7名
- ・ ごみ収集車が長時間滞在して交通の妨げになっていたから：1名
- ・ その他：39名

・ その他の主な意見

- ・ 戸別収集による負担の増加について
- ・ 近隣の動物対策について
- ・ 収集曜日・時間について
- ・ 不法投棄等について など

自由意見について

・ 質問 1 3 自由意見 (カテゴリー別)

戸別収集の継続について	53名	ごみ出しに係る負担について	24名
景観の向上について	25名	近所付き合いについて	5名
ごみ出し責任の明確化について	61名	プライバシー・防犯について	8名
減量化・資源化への意識について	12名	不法投棄等について	13名
集積所収集の希望について	41名	可燃ごみ以外の戸別収集について	8名
収集時間について	24名	有料化への懸念について	3名
収集曜日について	25名	市への要望について	55名
動物被害について	56名	コロナ禍における収集作業への謝意	82名